



File 01

http://www.act-group.jp/

株式会社アクト化成

- 所在地：宇佐市大字南宇佐1376-2
- TEL：0978-37-1551
- 事業内容：農業用資材、建設資材取り扱い
- 雇用人数：健康者37人 障がい者8人
- 沿革：1984年 有限会社花岡産業設立
- 1999年 アクト化成株式会社に社名変更及び組織変更
- 2006年 株式会社アクト化成へ社名変更

障がい者と健康者は認め合い、支えあえる関係 共に働き、成長し合える「仲間」

現在の障がい者の雇用状況等について

■ 雇用している障がい者の状況

軽度の知的障がい者。年齢は18歳から30歳代前半までの男性。うち7人は会社の寮で寮母さんの指導のもと、自立した生活を送っている。もう一人は糸口通勤寮から通っている。

■ どんな仕事をしているか

同社では水稻育苗培土を中心とした園芸育苗培土や、瓦土の製造販売をしている。これらの土を作るための原土の乾燥やブレンド、ふるいわけなどさまざまな工程を経て搬送されていく。

その中で障がい者の役割は、完成品の袋詰め作業や、各部署の製造過程において従業員をサポートする「縁の下の力持ち」。

中には現在は技術力がアップして、指導者がそばにいれば機械のオペレーター作業を任せられるまでに成長した人も。



土を袋に入れる作業

障がい者を雇用して良かった点

とにかく仕事を休まない。仕事に手が空けば何か探して働いている。何もなければ掃除をするなど、仕事に対して真摯な姿勢が見られる。そういう態度の一つひとつから、会社に対する熱い思いが伝わってくる。

また、障がい者を雇い入れた当初は差別意識を持っていた健康者が、仕事に励む障がい者を「一社員」として認めたころから、お互いに認め合い、付き合っていく「力」が双方についてきたように感じる。

コメント

■ 障がい者指導担当者

営業本部部长 田辺 靖史さん



障がいを持つ社員には、仕事の基礎的な部分を担ってもらっていることが多く、まさに縁の下の力持ち的存在。

根気のいる仕事が多いのですが、こつこつと働いてくれるため、いまではなくてはならない存在です。

■ 現職障がい者

第一製造部 丸山 友春さん



ここに勤めて8年になります。社員はみんなやさしく仕事を教えてくれるので、働きやすい環境です。仕事は大変ですが、ここで頑張りたいと思っています。

休みの日は寮でのんびり過ごしたり、買い物に出かけたりしています。自動車免許を取ることが今の目標です。免許が取れたら大分市など、大きな町までドライブに出かけたいです。



プロセス

STEP 1

■ 雇用スタート時の状況・雇用を始めようと思ったきっかけ

10年ほど前に、宇佐市の障がい者雇用の実態について話を聞く機会があった。あまり雇用率がよくなく、宇佐市でも障がい者雇用の促進を進めなければいけないのではないかと感じ、講演していただいた先生に同社を見学してもらい、障がい者も働ける場があるか見てもらった。

すると、ここでも働ける場所があるということだったので、早速一人受け入れたのが始まり。

それからは次々と研修を経て数人ずつ受け入れてきた。障がい者受け入れ第一号の男性は、今では同社にはなくてはならない戦力の一人であると同時に、新しく入ってくる障がい者のリーダー的存在に成長している。

STEP 2

■ どんな問題点にぶつかったか

社員全員が障がい者に対する知識が全くなかったため、3、4年は健康者の社員と激しくぶつかり合った。障がい者との係わり合い方がわからなかったため、やたらと過干渉になったり、差別的な感覚からいじめに発展したり。

障がい者と健康者のトラブルはもちろん、障がい者同士でもいろいろと問題が起きていた。

STEP 3

■ それに対してどんな改善策を取り、工夫をしてきたか

①うまくいっているところ

彼らを「障がい者」として見ることをやめ、あくまでも一社員として扱うことから始めた。

現場ではなかなかそういうわけにはいかなかったようだが、障がい者たちは勤勉で、根気のいる仕事を地道にこつこつとこなし、仕事を覚え、確実に成長していった。

そんな彼らの努力と成長を見た現場の健康者社員の意識が変りはじめ、障がい者を一社員と認め、尊重するようになった。今では彼らなしでは仕事が進まない工程もある。



障がい者が住む寮

②現在の社内でのコミュニケーション

今ではお互いに理解し合い、コミュニケーションも自然に取れている。

③サポート体制

障がい者7人が暮らす寮が会社のそばにあり、食事や掃除などは寮母さんに手伝ってもらい、楽しく生活している。

また雇用担当者が職業生活相談員の資格を取得しており、仕事やプライベートの指導や相談に乗っている。

社内環境

1年前に障がい者が生活するための寮を建設。現在7人が生活している。また年に一度の納会は、7つのグループ会社の社員が集まって、酒を酌み交わして交流している。

